



この木が材となるころには……

広報 ひがし しらかわ

1991
平成3年

11

No 368

発行 東白川村・編集企画課
岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747-8-3111
印刷 下呂印刷株式会社

人口の動き

—10月末住民登録人口から—

世帯数	909世帯
人口	3,473人
転入	7人
転出	2人
出生	2人
死亡	4人

先月と比較して3人増
昨年と同月と比較して
29人減

友情の木、大きく育て！

6月には東白川小学校の5・6年生が三重県香良洲町の海へ招かれ、“楯干し網漁”を体験しました。

今度はそのお返しとして去る10月13日、香良洲町の香海中学の生徒40名を招いて東白川中学の生徒41名が五加久須見の村有林1haに「香良洲町・東白川村、海山ふれあいの森」の植樹を行いました。

爽やかに澄みきった秋晴れの空の下、自然を満喫した1日となりました。（関連記事6ページに掲載）



五加久須見地内1haの「ふれあいの森」

架け、そ・し・て……



高齢者センターは日に日に完成に近づく

平成3年度後期事業それぞれ着手

住宅・橋・加工場

平成三年度の村の主要事業は、「高齢者生活福祉センター」が六月二十八日に、「伝承の館」が八月十三日に、そして「こもれびの里」の一環として「総合グラウンド」が九月三日に着工となり、十月に入って、さらに四つの事業がそれぞれ着工されました。

近未来である二十一世紀への夢と展望を開く「総合計画」は力強く実現へ向けて動き出しています。

十月に着工された主な事業を見るとともに、神土中通地内に建設が始まった「集合住宅」について少し詳しく眺めてみたいと思います。

①村営住宅建設工事

十月に行われたUターンなどの若者を対象とした「フレッシュアップ'91」に参加した若者たちの中から出た意見の中にも「村には住む場がない」といった意見が出されていましたが、かつては、農村型の家族制度というべきか、二世帯、三世帯の同居が当たり前といった形態がほとんどでした。しかし、時代の風潮が核家族（夫婦家族）化が表面化し、村内においても住宅を望む声が高まってきました。

そんな若者たちのニーズに答えるべく今年春から五加柏本の木曾渡村有地に登場した村営住宅

宅。昨年二棟四戸が、建設され今年度も一棟二戸の建設が二月末の完成をめざし開始されています。

新婚さんやUターン家族を対象とした、若者向きのシャレた設計の村営住宅、村の人口増加の一端を担っています。

なお、入居者の募集は、二月末をメドに来春早々に行なう予定です。

〈概要〉木造瓦葺き平屋建（一戸分）六十四・一七㎡（請負業者）東白川木造建築協同組合（請負金額）二千四百二十九万四千六百十円

②沢尻橋下部一期工事

現在、神土平地内で白川の対岸へ渡る橋は、高橋と沢尻橋、横瀬橋の三橋しかありません。



川は工事のため一時変ぼう

しかも、そのうち自動車の通行可能な橋は、高橋だけです。

中学校前の県道から平向へ連絡をする沢尻橋が、自動車の通行可能な橋として生まれ変わるための工事が平成五年の完成をめざし着手されました。

この下部一期工事では、平向側の橋台、橋脚、両岸の護岸が作られる予定です。

この橋の特徴は「合成床版橋」といって橋桁と橋板が一体となった非常にスマートな形で、橋の中央部が両側に膨らんでおりそのスペースで白川の流れを眺めることもできます。

将来は、この橋を起点に白川加子母線の対岸を病院前を通って釜淵まで達する「平向線」にも着工し、白川加子母線のバイパス的な役割と平向いの開発の

ための重要な橋となります。

〈概要〉二径間連続合成床版橋、橋長五二m四十・有効幅員五m（請負業者）山田土建（株）（請負金額）四千五百一十一万四千円

③東白川村食品高度化施設工事

ずいぶん長い名称ですが、簡単にいえば農産物加工場のことで

「飽食の時代」といわれる昨今、消費者は「安全」「本物」「個性」「新鮮」といった思考を強く求めています。

また、東白川村では「健康農産物の郷」をキャッチフレーズに展開した夏秋トマト、夏秋なす、千宝菜などの野菜が一応の軌道にのり、消費者のニーズに答えるためにも、こうした健康野菜の加工施設が必要視されてきました。

加工場の建設場所は、陰地区杉田屋橋付近の白川沿い。

来年度から使用可能となるこの加工場では、トマト、なす、千宝菜などを使いトマトジュースや、漬物などを作ることがができます。

また、製品の販売は悩むるさと企画がお手伝いします。

〈概要〉木造瓦葺き平屋建二

家を建て、橋を



工事の安全と無事完成を祈って

問題は、

教員住宅の
移転先です

が、これに

ついては、

郵便局舎の

建設予定地

である村有

地と東白川

郵便局長服

田弘道氏所

有の中通の

農地との交

換が行われ

ることとな

りました。

平成四年の四月には、教員住

宅が取り壊されることになり、

交換して村の土地になった中通

の土地に独身や単身赴任の教職

員及び県職員の方々が入居でき

る集合住宅を平成三年度中に建

設することになったのです。

ワンルーム方式の シャレた感覚で

集合住宅の建設にあたっては、 岐阜部品の誘致のため昭和六十 一年設立された第三セクターの （株）東白川が行なうこととなり、 既に業者が建設に着手していま

新築に関連して

商工会館・郵便局舎

四五・四三㎡（請負業者）木村建設（株）（請負金額）五千六百元
十五万円

平成四年度には、商工会館の建設と東白川郵便局の局舎の建設がそれぞれ予定されています。

村では、現在古田オート西側の教員住宅（かじか荘）の老朽化を考えて、これを移転し、この村有敷地に商工会館と郵便局舎を建設する案が出してきました。

す。

①集合住宅敷地造成工事

・請負業者（株）マルト土木

・請負金額 六百十八万円

②集合住宅設計管理

・請負業者（株）ワークシヨツ

（白川町）

・請負金額 二百二十八万円

四百五十円

③集合住宅建設工事

・請負業者 東白川木造建築

協同組合

・請負金額 六千五百十九万

九千円

・工期 平成三年十月一日～

平成四年三月二十三日

（集合住宅の概要）

(1)構造 鉄筋二階建・瓦葺き

(2)面積 建築面積

一七八、八七㎡

(五四、一一坪)

床面積

一階一五四、五

六㎡（四

六、七五坪）

二階一五一、

九一㎡（四五、九

五坪）

(3)室数 十室

(4)一室の機能 ワンルーム方式

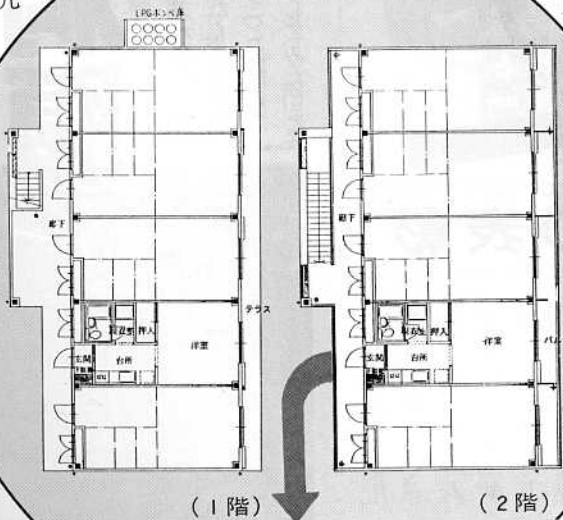
面積二六、六五㎡（八、一坪）

洋室、押入、脱衣室、台所、ユ

ニットバス及びトイレ、バルコ

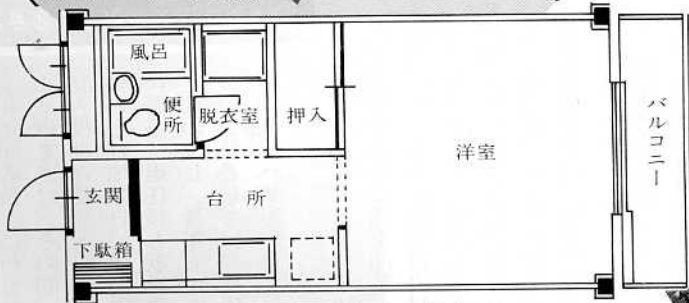
ニー（二階のみ）

集合住宅平面図



(1階)

(2階)



1戸分の平面図（2階）

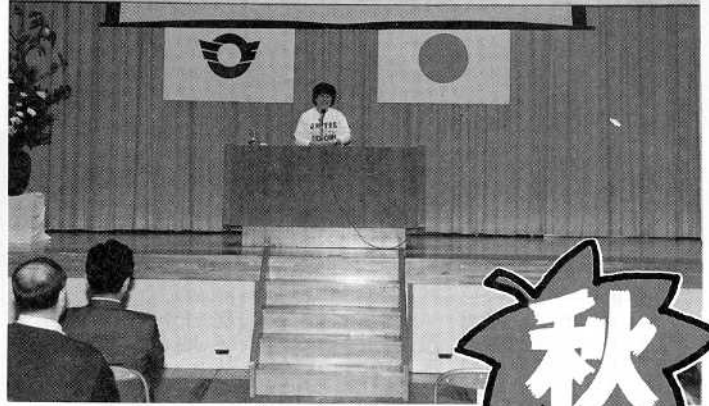
この集合住宅については、今年度は、一棟十室を建設していますが、平成四年度以降にもう一棟の建設を計画しています。今年度の後期に着手した事業を少し走って見てきましたが、「お村へ若者を定着させたい」お



集合住宅建設現場

年寄が安心して暮らせる村に」こうした環境づくりのために村は少しづつではありますが、一歩着実に進んでいるのです。

第17回文化講演会



話題満腹!

「秋」といえば食欲を連想される方が多いと思います。確かに秋は、おいしい物がたくさんありますが、今回は、ちよっと食べ物のことは忘れて格調高く「文化の秋」でお腹を満たしてみたいと思います。

文化講演会

十一月三日、文化の日、東白川中学校体育館で「第十七回文化講演会」



文化展

村民センターでは恒例となっている「文化展」が十一月の三日から二日間にわたり開かれました。家族連れなどで訪れた人たちは、趣味の作品、小中学校の美術作品、中でも今回特別展として展示された「私の一品・我が家の逸品展」の土雛に注目が集まり、約二百点あまりの人形たちの表情に見入っております。



白川村への来

が行われました。今回講師としてお招きしたのは、女優でありまた、女性としては日本初の氷上踏破で北極点到達という偉業を成し遂げた探検家としても有名な和泉雅子さんでした。岐阜へは、日活映画出演の頃撮影のために何度か足を運んだ経験をお持ちということでした。が、もちろん東白川村へは、もろい泉さんが、ステージに登場するとか何かずつと以前から知っていたかのような独特な雰囲気を持った素晴らしい女性でした。

村づくり功労者の表彰



表彰を受ける安江とくよさん

十一月三日、文化講演会に先立って、村づくり功労者の表彰及び村づくりに献身的に努められた方への感謝状の贈呈が行われました。

〈村づくり功労者〉

昭和五十五年度に始まったこの制度。本年は三名の方が表彰を受けられました。

今井一雄さん(大沢)：昭和三十一年

十二月から三十五年余にわたり、民生児童委員として村の福祉の安定向上に貢献されています。

小池正二さん(平)

：本村職員として三

十九年間の長きにわたりご活躍をされ、その間、収入役を六期二十四年間勤められ地方自治の発展に寄与。退任後も歌舞伎を初めとし、長年文化協会の会長として村の文化水準向上へ貢献されています。

安江とくよさん(平)：昭和十四年から助産婦を開業、昭和四十三年からは東白川村母子健康センター開所とともに嘱託助産婦として勤務され、五十有余年の長きにわたり、母子保健事業にご活躍されています。

〈感謝状贈呈者〉

さまざまな分野で村づくりに貢献された方に送られる感謝状は次のお二人に贈られました。

今井正三郎さん(西洞)：

長年にわたり村の公共施設や道路などに花木の植栽奉仕を通して花で飾る心豊かな地域づくりに尽くされています。

大坪久美さん(平)：東白

川小学校々歌・東白川村民の歌の作詞をされ、地域づくりの大きな支えとなりました。



土人形



書



手芸



生け花



「少しでも林業に興味を持ってくれれば…」十月二十四日林業グループ主催による「林業体験学習が中学二年生を対象に行われました。のこぎりさえ握るのが初めてという生徒を相手に、

小走りにステージに登った和泉さん、開口一番「晴れましたね」からスタート。探険家としての和泉さんが、一度失敗した北極点へ再度挑戦に至った理由、何度も途中断念を考えたという生と死の境とも呼べる難関に出会いながらも北極点に到達した時の喜び、僅か一時間半という時間ではありましたが、北極点到達までの撮影写真のスライドを交え、時にはおもしろいエピソードで笑いを誘い、また時には、少々オーバーなゼスチャーでパフォーマンスして見せ、詰めかけた聴衆を北極点まで案内して下さいました。

「北極点へ行く前と行く

山を守る

約二時間で伐倒・造材・搬出までを体験させるという超豪華メニュー。直径二十センチ程の間伐材を倒すことは生徒たちにとってかなりの重労働。結果はともかく、昔ながらの技法による間伐作業で木の温かみに触れた生徒たち、素晴らしい体験となりました。

た後の生活は何ら変わらなかった。しかしその間に芽生えた友情、信頼関係は、お金で買えるものではない。私の場合は北極点でしだがみなさんもみなさん自身の北極点を夢を追い続けて下さい」と熱っぽく語って下さった和泉さんに、惜しめない拍手が送られました。

また、講演を終えた和泉さんに村の印象についてインタビュ―したところ、「澄んだ空気、清らかな水の流れ、こういう所こそ、人間が住むべき場所なんです。こういう所では明るく、



英語劇に初挑戦

「その日はみんなですごいことをやったんだな。という実感が湧いてきました」「今井美香さん」「始め英語なんかでできるわけないと思っただけと全員がその気になればできると思っただけ」(安江美知子さん)。

十月二十七日東白川中学文化祭において三年B組の生徒二十一名が、英語劇「竹取物語」に挑戦。三年間学んできた英語の力を遺憾なく発揮して父兄の方たちなど集まった観衆を魅了しました。

仕掛人となった担任の梅村先生は、「生徒

人情豊かな人間が育つはず。機会があれば是非また来たい」と語って下さいました。

「笑ってよ北極点」と題した今回の文化講演会、村民の

思いに出るに残る文化の日となったことでしょう。

がこの企画に賛成してくれるか不安でしたが、最後は生徒の方が乗り気になって…」と英語劇大成功の裏舞台を語って下さいました。

また、アンドリュウ先生も特別参加の一幕もあって大変な盛り上がりとなりました。

八月からのアンドリュウ先生の来村といい、今回の英語劇といい、村の国際化はいよいよ芽を吹き始めたようです。



「香良洲町・東白川村、海・山ふれあいの森」植樹

平成元年に始まった三重県香良洲町との交流事業。その一環として五加久須見地内に造成する「海・山・ふれあいの森」。このほど植樹に訪れた「海の子」香海中学の生徒たちの山村体験を追ってみました。



急斜面は気お付け

また一步接近遭遇

参加は募集で

去る六月に東白川小学校の児童たちが「植干し網漁」を体験し、両町村の友好関係を深めたことは

記憶に新しいかと思えます。

山で育った子供たちにとっては、海への憧れのようなものがあったか、海へ行った子供たちの反応にはかなり高いものがありました。「はたして海辺の子供たちにとって山での体験にそれほど高い反応があるだろうか。」これが、取材前の素朴な疑問でした。

秋晴れとは、こういう日を言うのであろうと思うほど爽やかな天気となった十月十三日午前十時、香海中の生徒たちが四時間近くバスに揺られてきたとは思えぬほど元気一杯で到着しました。

香海中学の参加生徒は二年生の四十名。二年生全体の約半分になるそうです。どういふ方法でこの四十名を選んだのかを

香海中学の二年生担当の先生に伺ってみました。なんと東白川中学の二年生四十一名にあわせて募集を行ったとの事でした。

「募集を始めた当初は、恐らく人数が集まらなくて、こちらから生徒たちにお願いをして集めなければならぬだろうと思っていました。申し込みが殺到し、結局抽選となって反対に生徒に断ってまわったんですよ。」と先生がおっしゃるように、香海中学では、ちょっととした東白川フイーバーが起こったようでした。中でも抽選に当たったのに数日前にけがをしてどうしても来ることができなかった生徒があったそうで、その生徒は、前日までとても残念がっていたというようなエピソードも話して下さいました。

農業大学校 学生募集について

岐阜県農業大学校では、二十世紀の地域の農業を担う学生を募集しています。

▼定員 四十人(園芸学科・畜産学科)▼願書受付 平成三年十二月二日～十二月二十日▼試験日 平成四年一月二十四日
※詳細は、役場農務課(有線二一六一)へお尋ね下さい。

法律を守って

楽しい狩猟を

十一月十五日は、ハンターのみなさんにとって待望の狩猟解禁日です。しかし、一つ間違えば銃の使用は重大故を引き起こす原因ともなりかねません。

無事故で楽しい狩猟を行うために再度入念に銃の取り扱いを確認しておきましょう。

また、野鳥を一度に数百羽も捕獲してしまう「かすみ網猟」

おしらせ



についてこの九月十五日からかすみ網の所持、販売、頒布が法律で禁じられました。

このかすみ網を使った密猟による捕獲は年間四百万羽に及ぶとも言われ、自然のバランスが崩されようとしています。わたしたちの自然を守るためにもこうした違法捕獲は根絶しなければなりません。

国民健康保険証

が変わります

国民健康保険制度に加入している「あかし」として被保険者証(保険証)が交付されますが国保の保険証は、社会保険などと違って有効期限は二年ですから二年ごとに新しくなります。

現在使用されている保険証は平成元年十一月に交付されており、この十一月三十日で有効期限が切れ、十二月一日からは使えなくなりますので、必ず新しい保険証を使うようにしてください。

この狭き門を見事に突破し東白川へ来るこ
とが出来た香海中の生
徒二、三人に話を聞いてみると、「空気がおいしい」、「合宿したい」、「泊まりがけで来たい」などかなり好印象を持ったようです。



松茸ごはんおいしいな

さて、関心の植樹の方ですが東白川中学二人、香海中二人の四人からなるグループ20班に分け、それぞれのグループに林業グループの方々が一人づつ指導にあたるという形態で行われました。

対面式では両校ともさすがに緊張の面持ちでしたが、さすがに同世代の子供たち、大人の考えるような心配をよそに「ふれあいの森」の急斜面で協力しあって元気に植樹を行いました。海の子たちが、山での作業が初めてだった、という話はわかりますが、驚いたことには東白川の子供たちも、鍬などの道具を持つのが初めてという子がたくさんいたことです。

今の世代の子供たちは、「海の子、山の子」というよりむしろ「現代っ子」という言葉がピ

ツタリなの
かもしれま
せん。

海へ行っ
た小学生た
ちは、魚や
貝などの海
の幸に大喜
びでしたが、
今回の昼食

は、山の幸「松茸ごはん」に、「豚汁」のおもてなしとなりました。海の子たちの中には、「初めて食べた」なんていう子もあつたり、こちらも大評判だったようです。

お別れは 合唱で

昼食が終わり午後からは、マイクロボス二台で村内巡りとなりました。もちろんバスは両校半々に分けての乗車です。

村内巡りを終えた生徒たちは、この日の最終スケジュールとなった、お別れ式の会場体育館へ。ここで東白川中学の生徒は全員が勢ぞろい。

両校の合唱などによる交歓が行われ、また生徒たちの作った松の置き物が香海中の生徒一人一人にプレゼントされました。聞くところによると香海中学校の生徒会室には「東白川村コーナー」と言フスペースが設けられているそうです。

学校間でも絵などの作品交換などを行っているとか。「ふれあいの森」に植樹した松が価値ある材となるには五十年はかかるそうですが、両町村の友好関係は、その間にその価値以上になるに違いありません。



東中生徒から心のこもったプレゼント

図書コーナー

自動起床装置



邊見 庸 著
物が氾濫し便利になっていく現代。その中で生きる人間の、言葉では言い表せない変貌と疑問を「眠り」という実に人間的な行動を通して書き上げられている
—芥川賞受賞作品—
推薦人 (28歳・女)

いま、女として 上・下

金賢姫 著
TVを通して「真由美」という恐ろしい女としてしか知らなかった人物。それが突然、この手記によって北朝鮮の一人のか弱い女性なのだということを知り、戸惑い、涙した。
推薦人 (55歳・女)



精神薄弱者に対する 運賃割引制度について

精神薄弱者の方を対象とするタクシー・バス・鉄道等の運賃割引き制度が十二月一日より実施されます。

対象者は療育手帳の交付を受けてみえる方で、割引き内容等はそれぞれの交通機関で異なります。又、乗車等される場合は

最低賃金が 改正されました

療育手帳の提示をしていたことがなりませんので、顔写真の貼付された手帳に書き換えが必要となります。制度内容・書き換え等の問い合わせは役場住民係へおたずね下さい。

十月二日から、岐阜県最低賃金が次のように改正されました。
日額四千三百七十四円(改正前四千六百六十七円)、時間額五百四十七円(改正前五百二十一円)です。なお、対象となる賃金には、時間外、ボーナスなどの手当は含まれません。

大会

全ての人が幸せに 福祉村への第一歩

「一人でも多くの方に福祉活動を理解してもらえれば」十月

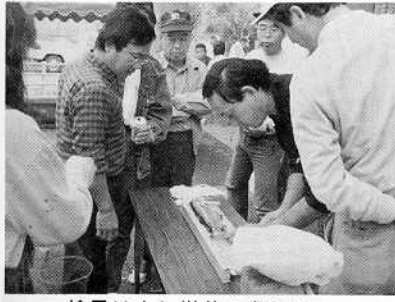


表彰を受けたみなさん

二十日中学校体育館において「第一回社会福祉大会」が二百余名の参加のもと開催されました。昭和六十三年社会福祉協議会が独立団体として発足して以来福祉の輪を広げるための活動を行なってきましたが、この大会の開催に「これからは福祉の時代、これを契機に福祉の充実を計っていききたい」と関係者は意欲的でした。

イベント

前日までがウソのよう 「十月十日」は晴天です



検量は十^{kg}単位の争いに

「十月十日は、晴れる確率が本当に高い。」スタッフの素直な感想です。体育の日に行われた恒例の「中日新聞社杯のマス釣り大会」昨年は、台風の影響で雨の中の大会となりましたが、今年には選んだ日が良かったか、はたまたスタッフの日頃の行ないのためか？まさかの秋晴れ。村内外から約二百名を集め、大盛況の大会となりました。

ギネス

おくらの裏の おばけオクラ



背丈をあっさり抜いて

スクスク育ったオクラ。高さ何と三尺二〇センチ、平の神戸正躬さんが作られました。作った場所が、平の神戸正弥さん宅の裏の畑、正弥さん宅の

三〇センチのものがばかり。ともに立派にギネス入り。スケールの大きな話でした。

同居

こんなライフスタイルは いかがですか

「柿の木というべきか、はたまた竹というべきか？」平の今井和道さん宅の柿の古木の空洞になつてい部分に竹がニヨキ

ニヨキ生えてきました。柿の木に竹が居候といった感じさえますが、竹の方は臆面もなく葉まで茂らせ、柿の方はといえば、枯れることなく、葉も青々と元氣そう。柿の古木を支柱のごとく支える若竹、この両者の関係は、新しい生活様式なのかもしれません。



まさに共存共栄…？

まさ

■戸籍の窓―敬称略(十月)

誕生おめでとうございます

(日向) 安江 健郎 唯^唯

敏美 (長女)

(陰地) 牧野友紀史 鴻一^一

美幸 (長男)

いつまでもおしあわせに

(け) 今井 英禎 (白川町)

村雲 幸世 (下親田)

(い) 安江 元樹 (上親田)

伊豫田 郁 (海部郡弥富町)

おくやみ申し上げます

古田 増一 77歳 (柏本)

田尻ゆきみ 85歳 (神付)

今井 辰巳 75歳 (加舎尾)

安江すゑ 83歳 (陰地)

■善意の寄付―敬称略

(社会福祉施設整備基金指定寄付)

現金十万円―高木孜 (黒淵)

現金五万円―今井眞砂 (小牧市)

現金五万円―安江浩 (陰地)

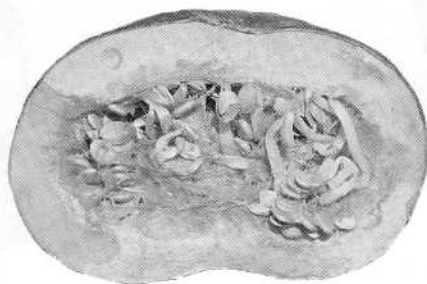
(空缶回収箱設置指定寄付)

現金五万円―青年団体連絡協

会)

珍品

あけてビックリ
めでたい話



食卓にホクホクとカポチャの煮物。おいしいものです。

「今夜はカポチャ」とばかりに半分に割ってみたところ何と中の種からもやしのような芽がこのあわてもののカポチャは神付の村雲義巳さん宅でできました。「こんなカポチャは初めてです」とは村雲さんの弁。暖かかったり寒かったりの天候不順が幸いした(?)ようです。

仕奉

小さな物でもたくさん寄れば
大きな価値に



現在10ヶ所に収集缶を設置

最近、新聞等で話題になったブルトップ(アルミ缶のふた)で車イスを買う運動。埼玉県川口市で三年前に始まったそうだが、村でもこの運動グループが産声を上げました。その名も「有瑠美会」。現在は平の沢木紀代子さんら十四人ですが、今後仲間をどんどん増やしたいとか二百万個で車イス一台分ですが、沢木さんは一ヶ月約五百個集めたそうですから十四人で単純計算すると約二百八十六日。今後仲間が増えれば……。

口市で三年前に始まったそうだが、村でもこの運動グループが産声を上げました。その名も「有瑠美会」。現在は平の沢木紀代子さんら十四人ですが、今後仲間をどんどん増やしたいとか二百万個で車イス一台分ですが、沢木さんは一ヶ月約五百個集めたそうですから十四人で単純計算すると約二百八十六日。今後仲間が増えれば……。

環境美化と福祉活動、一石二鳥の奉仕活動です。

研修

聞いて「ワクワク」出てきて「ドキドキ」
食べて「……?」



「おなかすいちゃって…」

今年二回目となる、村に新規に就業した者を対象とした研修会「フレッシュバック」。平成二年度三年度の新規就業者十三人の参加で行われました。

今回は、村内巡りは行われませんが、村の将来構想や特産品の紹介には、「初めて見た、初めて聞いた」といった新鮮な感想も出ていました。また、恒例となっている「テ

「ブルマナー研修」シティーホール美濃加茂でフランス料理を体験。「こんなに時間をかけて食べたら、うまいのかどうかもわからない」というのは素直な気持ちかもしれません。二日にわたったこの研修、最後は「行儀作法」。それぞれの職場へ帰った参加者に少しでも変化があれば、この研修が大成功といえるでしょう。

■工事入札の結果

- ①は入札期日②は落札金額
- および落札業者
- 一木線舗装工事(下親田)
 - ①九月三十日②三百九十七万五千八百円、丸登建設(株)
- 日向用排水路改修工事
 - ①九月三十日②五百八十七万二千元、(株)立保土木
- 東白川公営住宅建設工事
 - ①十月二日②二千四百二十
- 集合住宅建設工事
 - ①十月一日②六千五百九十九万九千元、東白川木造建築協同組合
- 小三池橋架設工事(栃山)
 - ①十月三日②五千三百五十六万円、丸登建設(株)
- 沢尻橋架設工事
 - ①十月二十五日②四千五百一十一万四千元、山田土建(株)

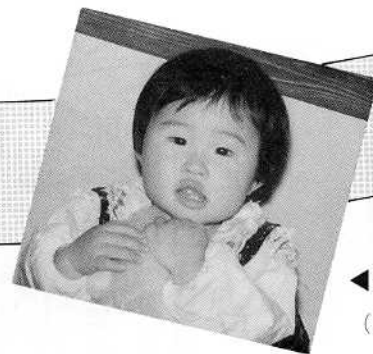
議

〔社会福祉協議会へ〕
現金三万円 古田みゑ(柏本)
〔東白川小学校へ〕
産経新聞写真ニュース(平成三年十月一日〜四年九月三十日) 安江忠昭(陰地) ▼運動用品(ドッチボール6・サッカーボール2・バレーボール2・トビナワ2・バトミントンセット2・シャトルコック12・ルールブック1・空気入れ1) 二組 〓はあと記念財団(代表 井上薫)
〔神土保育園へ〕
さつまいも 田口貞造(中通)
〔五加保育園〕
星座紙芝居セット六巻・絵本一冊 古田正子(久須見)



▲安江康平くん

(雅次さん・美紀さん長男＝柏本)



◀今井香保理ちゃん

(正英さん・美鈴さん長女＝平)



ふれあい広場

新婚さん♡

■ワン・ショット■



この写真は引きのばしてお二人に進呈します。

「お子さんは？」の質問には、「二人でも三人でも子供好きのお二人です。」

「付き合いつい始めたのは、二十歳と十六歳の時だった」何か映画のような話ですが、六年の歳月を経て

この十月二十二日にみごとゴールインに漕ぎ付けたまさに新婚ホヤホヤのカップルは、中通の安江元樹さん郁さんとご夫妻。愛知県の弥富町出身の奥さん郁さん、弥富町で看護婦をしてみえました。ご主人の元樹さんは、学校卒業後は、ずっと村に住んでいたとのこと、いつたい二人の接点は何処に…とイジワルく尋ねたところ、郁さんの看護学校時代の友人が東白川出身で二人の結びの神になったとのことでした。

元樹さんの少し昔気質で優しいところに惹かれたという郁さん、村の第一印象については、かなりの衝撃があったようですが「温かそうな感じの人ばっかり」と現在の心境も語ってくれました。



物に物を強く当てたり、叩くような動作をしたり、物を遠くへ飛ばしたりなどを意味する言葉に「うつ」があります。漢字を当てはめると「打・撃・討・撲・拍・憐・搏・伐・射」などとなります。

「なんだ、共通語じゃないか」とおっしゃるかも知れません。その通りです。多様な意味を持つ共通語な言葉です。「鞭でうつ」「太鼓をうつ」「綿をうつ」「球をうつ」「針をうつ」「手をうつ」「心をうつ」「釘をうつ」「縄をうつ」「銃をうつ」「仇をうつ」「碁をうつ」「脈をうつ」「もんどりうつ」などを



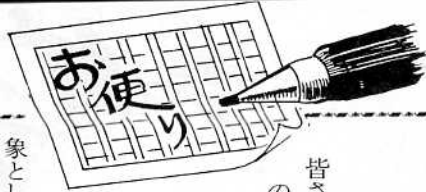
書き上げれば切りがありません。わたしたちの日常会話の中では、共通的な言葉を何のためらいもなく、何の疑問もなく、その地方だけに通用する別の意味で用いていることが多いものです。この「うつ」はその一つの例です。

「新車買って二年経ったむんやで三十万うって新しい奴を買った」「そうか、割合いうたんでもよかったな」。二年落ちのクルマを下取りに出し三十万円追加して新車を買ったという会話です。この場合の「うつ」は「物を交換するときに差額を補う」という意味です。

この用い方は、東白川村や近辺ではごく普通ですが、全国的には珍しいようです。

また、田畑を耕すことを「田をうつ」「畑をうつ」といいます。鉄で叩くような動作をするところからいう言葉で、共通的な語釈にも見られますが、方言的に用いられることが多い言葉です。

他の地方では、「頭痛がする」を「頭がうつ」、「鳥肌が立つ」を「とりはだうつ」といい、「臭気がする」を「臭気がうつ」ということなどもあります。



「フレッシュバック'91」に
参加して

今井 英彦(白川町)
皆さん初めまして、私はこ

の三月から丸登建設へ勤
めております。自宅は
白川町中川で東白川村
とはちょうど境になり
ます。

今回の企画、村へ新
たに就業した者に対
象とした「フレッシュバック」。

村外からの参加者は、自分一
人、ほとんど知らない人ばか



無肥料ですくすく育ったケイ
トウの花。安江英樹さん(大明
神)のお孫さん任美ちゃん(四
歳)の身長を追い抜いてしまっ
ました。(高さ一・五尺)

安江英樹さん(大明神)撮影

りで多少不安もありましたが二
日間にあたる研修を楽しく過ご
すことができ、こうした企画に
参加させていただけたこと本当
に感謝しています。

今回の研修を通して、最も強
く印象に残ったことは、研修初
日、役場の企画課長さんから説
明のあった村の道路のことです。
主要道から一步集落へ足を踏み
込むと林道や農道、私道などの
路線が素晴らしく整備されてい
ること、これに一番驚きました。
村内の参加者でも知らないこと
がたくさんあったのではないで

しょうか。

これからもこういう機会を通
じて東白川のことを色々と教え
ていただきたいと思います。



「ヤング独演会」では思い切った意見が

働くお年寄り
**我が生涯
これ一筋**
石積み

石に対しての愛着は人一
倍あるとのこと。旅行が
好きで会社の旅行へ欠さ
ず行くそうですが、行く
先々で必ず石垣には目が
いくとか。
「どうやったら早く、
美しく、丈夫に積むこと

「好きやったからこういう仕
事が続けてこられたのやろうね」
こう語って下さったのは、今月
七十四歳になる安江恒男さん
(下親田)。今の職場(マルト土
木)に勤められてからは十年そ
こそこだそうですが、それ以前
に個人で人に頼まれて石積みを
していたころをいれると三十年
以上のキャリアの持ち主。
戦争中、開拓移民として旧満
州(現在の中国東北地区)に渡
った安江さん、村に戻ったとき
すでに四十歳くらいだったそう
です。その後、畑を開墾しお茶
と養鶏を始められました。
この畑の開墾が石積みとの出
会いだったそうです。

「最初は、人の手伝い、その
うちに自分で見様見真似で積む
ようになり、そのうち人から頼
まれて崩れたものを直したり、
新たに作ったりしたものです。」
石積みを長年やってこられて



「石にもそれぞれ顔がある」と安江さん

「いつまで使ってもらえるか
はわからないが、体の動くうちは
他の人の迷惑にならない程度に働
き続けたい」と語ってくれた元
気なおじいさんです。

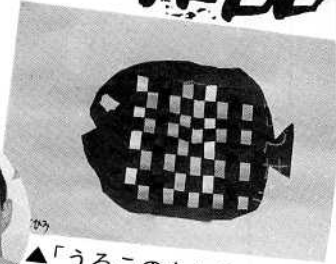
わたしの作品



「ひつじ」
東白川小学校2年生
田口義貴さん
(上親田)



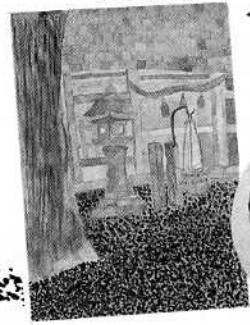
「風景」
東白川小学校5年生
今井智恵さん
(下野)



「うろこのもようをあみこんでさかなの形にしました」
五加保育園くりもとひろゆきくん(柏本)



文字=「寺」
白川中学校2年生
今井宏樹さん(陰地)



広報文芸

俳句

秋深し野佛の顔みな違ふ
澄む月に乙女の頃を思い出す
秋の夜の晩酌老の幸思ふ
彼岸花ひがんの華に派出過ぎて
ひがん花古墳の原に火と燃ゆる
御嶽へ登るうなじへ夏鷺
あふれ蚊の来ると見れば疾や刺しぬ
出来むらの直らぬま、に出穂となる
ひぐらしは裏山近く風そよぐ
逝く秋の航跡白く恋終る
日焼けの子作品大事に登校す
青柿や伸ばせば背骨ホキと鳴る

狂俳

石仏 風雪耐えた寂深い
明るい 笑顔で挨拶気持いい
石仏 道祖神縛る蔓青い
○明るい ガラス張りの村政清い
娘 番茶も三十路味おちる
明るい Uターンして家業継ぐ
○石仏 水田地蔵に情移る
明るい 月がデイトへ意地悪い
明るい 毛はえ葉のき、めない
明るい 学童朝の声なすむ

あなたも俳句・狂俳に挑戦してみませんか。あなたの作品をお待ちしています。お申し込みは、俳句は西洞河田重喜宛・狂俳は陰地安江永吉宛までお寄せ下さい。

- | | |
|------------|------------|
| 安江 一滴水(日向) | 河田 重喜(西洞) |
| 安江とくよ(平) | 安江須美代(平) |
| 熊崎とみの(下野) | 河田あや子(西洞) |
| 新田 義男(加倉尾) | 早瀬 勇造(神付) |
| 安江 乙村(下野) | 加藤 公一(栃山) |
| 安江 武子(平) | □ 楼(柏本) |
| 田口 耕作(中谷) | 安江 武子(平) |
| 早瀬 勇造(神付) | 田口 薫(加倉尾) |
| 村雲 実可(中通) | 安江 武子(平) |
| 田口 安幸(日向) | 新田 義男(加倉尾) |
| 安江 富枝(曲坂) | |
| 河田 重喜(西洞) | |

こぼれ話



東京を中心にお住まいの皆さんで東白川クラブを三五年前に設立現在、会員一〇〇名で親睦を図りながら村のふるさと応援団して活躍されている。今回、愛知県を中心にした村出身者で「中京村人会(仮称)」を設立してはどうかという話もあがり、その準備をすすめてきた。まず、村内の皆さんに協力をお願い、本村出身者を調査したところ三八〇名の名簿ができた。その中から、年齢やら、住所やらを参考に一二名の準備委員を選ばせていただき、この十月十六日名古屋で設立についての打合せを行った。当日は、九人の皆さんが出席され、村長から村人会を設立したい旨をお話したところ、全員の賛成をいただいた。今後の日程は、今年中に会員募集について打合せ、翌年三月までに設立することがまとまりました。集まっていたいた皆さんから色々の意見をいただいたが、「今まで設立されなかったのが不思議だ、何としても早く設立し、村を想う同志の横の連携を図りたい」、「五〇歳を過ぎたころから、ふるさとを想う機会が増えた。村の情報を知りたい」等、どの委員からも設立に強い意欲を示された。まだ、名簿に記載もれがあるようなので、また報告されている人は企画課広報担当へ。